令和４年度　事業報告

令和４年度は、当協会の設立目的である交通安全と事故防止等を図るための諸活動を実施するとともに、自転車等対策事業及び自動車駐車場等経営事業においては、「お客様サービスの向上」を第一に、適正な業務執行の確保などに努めました。

なお、各種事業を執行する際には、新型コロナウィルス感染防止対策を講じながら実施しました。

交通安全対策事業では、子どもや高齢者及び自転車の交通安全と事故防止対策に重点を置いて推進しました。

横浜市、区役所、神奈川県、神奈川県警察、地区交通安全協会及び関係団体（以下「関係団体等」という。）と連携して、地域の実情に合わせて、子どもから高齢者までの各世代に応じた、「はまっ子交通あんぜん教室」、「ヨコハマ・シルバー・セーフティスクール」、自転車交通安全教室等、交通事故防止のための諸事業を展開しました。

自転車等対策事業では、横浜市営自転車駐車場の管理運営業務については、西部区域計５区の運営を着実に実施しました。

放置自転車等の移動、保管・返還等の業務については、公募型指名競争入札の結果、当協会は東部区域を受託し、駅前広場等における歩行者の安全や町の美化保持に寄与しました。なお、令和５年度は入札の結果、引き続き東部区域を受託することとなりました。

横浜市交通安全協会自転車会の入会者数（会員数）は、１０，２１４人となりました。

自動車駐車場等経営事業では、違法駐車をなくし、交通事故の防止に寄与するため、駐車場を整備するとともに、お客様に安全で快適に利用していただけるよう管理運営を行いました。

道路占用入札の結果、令和４年４月から新たに洋光台自動車駐車場を開設・運営することとなりました。

また、従来から協会が運営していた港南台及び東芹が谷自動車駐車場も、道路占用入札に移行し、入札が行われ、引き続き当協会で管理運営を行うこととなりました。

令和４年度　総務関係報告

１　組織・体制

（１）組織・人員の現況（令和５年３月３１日現在）

ア　役員・評議員

理　事（　５）（会長１、副会長３、専務理事１）
監　事（　３）
評議員（１６）

イ　事務局組織

事務局長
- 総務部
  - 総務課
  - 交通安全課
- 事業部
  - 事業課
    - 自転車駐車場（47か所）
    - 自転車等保管場所（7か所）
- 業務部
  - 業務課
    - 自動車駐車場等（22か所）

ウ　職員数

事務局本部（常勤役員を含む。）	１９人
自転車駐車場	９４人
自転車等保管場所	３０人
自動車駐車場	１８人
計	１６１人

２　協会機関会議等の開催

（１）理事会（３回）

令和４年６月３日
・令和３年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
・公益目的支出計画実施報告書(案)について
監査報告
・報告（交通安全功労者表彰式日程）

令和４年９月１日　　【決議の省略（書面表決）】
・令和４年度交通安全功労者等の被表彰者の決定について
・報告（令和４年度事業の執行状況報告について）

令和５年３月２４日
・令和５年度事業計画(案)について
・令和５年度収支予算(案)について
・令和５年定時評議員会及び理事会等の日程について
・報告（令和４年度事業の執行状況について）

（２）評議員会(１回)

令和４年６月２２日
・令和３年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
・公益目的支出計画実施報告書(案)について
　監査報告
・評議員の選任について（退任に伴う改選）
・その他（個人情報保護研修）

（３）監　査

令和４年５月３０日
次の内容について監事による監査を実施しました。
・令和３年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
・公益目的支出計画実施報告書（案）について

３　評議員の退任及び選任

評議員会において、退任に伴う評議員の選任が行われ、地区交通安全協会や横浜市からご推薦をいただいた方々全員が選任され、評議員３名が新任となりました。その後、次のとおり評議員が退任されました。

（１）評議員の退任及び選任

（敬称略）

・令和４年６月２２日の評議員会の終結の時　退任（２名）

近　澤　義　昭	室　井　　烈	横　井　正　巳
依　田　龍　治	三　石　孝　司	筒　井　恭　男

大　野　慶　太　　小　磯　　守　　内　倉　忠　勇
磯　部　敏　夫　　鈴　木　正　雄　　川　邊　重　男
輿　石　　稔　　渋　川　正　継　　原　田　龍次郎

・令和４年６月２２日の評議員会の終結の時　選任（３名）
近　澤　義　昭　　室　井　　烈　　横　井　正　巳
依　田　龍　治　　三　石　孝　司　　筒　井　恭　男
大　野　慶　太　　小　磯　　守　　内　倉　忠　勇
磯　部　敏　夫　　鈴　木　正　雄　　川　邊　重　男
森　　克　己　　相　澤　暁　三　　原　田　龍次郎
髙　瀬　卓　弥

（２）評議員の退任
・令和５年３月３１日　退任（１名）
髙　瀬　卓　弥

理事名簿　　令和５年３月31日現在

役　職	氏　名	所　属　等
代表理事・会長	板　橋　　悟	保土ケ谷交通安全協会 会長
理事・副会長	工　藤　　明	青葉交通安全協会 会長
理事・副会長	馬　場　正　治	山手交通安全協会 会長
理事・副会長	加　藤　恒　雄	都筑交通安全協会 会長
業務執行理事・専務理事	佐　竹　広　則	(一財)横浜市交通安全協会 理事

任期：令和５年６月まで（予定）

監事名簿　　令和５年３月31日現在

役　職	氏　名	所　属　等
監　事	置　田　光　男	(一社)南交通安全協会 会長
監　事	八　巻　裕　仁	(一社)泉交通安全協会 会長
監　事	坂　本　　連	(一財)横浜市交通安全協会 監事

任期：令和７年６月まで（予定）

評議員名簿　　令和５年３月31日現在

役　職	氏　名	所　属　等
評議員	近　澤　義　昭	加賀町交通安全協会 会長
評議員	室　井　　烈	磯子交通安全協会 会長
評議員	横　井　正　巳	金沢交通安全協会 会長
評議員	依　田　龍　治	伊勢佐木交通安全協会 会長
評議員	三　石　孝　司	戸部交通安全協会 会長
評議員	筒　井　恭　男	(一財)神奈川交通安全協会 会長
評議員	大　野　慶　太	鶴見交通安全協会 会長
評議員	小　磯　　守	(一財)旭交通安全協会 会長
評議員	内　倉　忠　勇	港南交通安全協会 会長
評議員	磯　部　敏　夫	(一財)港北交通安全協会 副会長
評議員	鈴　木　正　雄	緑交通安全協会 会長
評議員	川　邊　重　男	戸塚交通安全協会 会長
評議員	森　　克　己	栄交通安全協会 会長
評議員	相　澤　暁　三	瀬谷交通安全協会 会長
評議員	原　田　龍次郎	横浜水上交通安全協会 会長
評議員	髙　瀬　卓　弥	横浜市道路局　局長

任期：令和７年６月まで（予定）

令和４年度 交通安全対策事業報告

令和４年の横浜市内の交通事故発生件数は、7,492件と前年より391件減少し、怪我をされた方も8,483人と前年より514人減少しました。

一方で、交通事故で亡くなられた方は、38人と過去最少でありました前年の36人を上回り、依然として多くの尊い命が失われております。

令和４年度中、当協会では、人命尊重を活動の基本とし、市民の交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づけるため、関係団体等と連携して、次の５つの事業を推進しました。

１ 交通安全活動事業
２ 広報啓発事業
３ 交通安全功労者表彰事業
４ 交通安全活動団体への支援事業
５ 各種交通安全運動との連携事業

１ 交通安全活動事業

関係団体等と連携して、子ども、高齢者、自転車が関係する交通事故防止を重点とした交通安全活動を実施しました。

（１）子ども（乳幼児、児童）の交通安全

事業名	実施内容
ア はまっ子交通あんぜん教室	小学生を対象とした安全な歩き方や自転車の正しい乗り方などの基本的なルールを学ぶ交通安全教育、体験型教育（制動・巻き込み・死角実験）による交通安全教室の開催 開 催 数： 257 回 （対前年度 +15 回） 参加者数：60,069 人 （対前年度 +5,737 人） 小学校での交通安全教室（保土ケ谷） 小学校での交通安全教室（南）

イ　チャイルドシート着用教室	各地区交通安全協会母の会と連携したチャイルドシート着用の向上を図る教室の開催 開 催 数：　42 回　（対前年度　+9 回） 参加者数：1,593 人　（対前年度 +843 人） 区役所での教室（都筑）

（２）高齢者の交通安全

事業名	実施内容
ヨコハマ・シルバー・セーフティスクール	高齢者を対象とした交通安全教室の開催 (ｱ) 体験実践型交通安全教室 開 催 数：　7 回　（対前年度　+2 回） 参加者数：　332 人　（対前年度　−68 人） (ｲ) 座学参加型教室 開 催 数:　8 回　（対前年度　+8 回） 参加者数：　370 人　（対前年度　+370 人） (ウ)運転指導型交通安全教室 開 催 数：　5 回　（対前年度　+4 回） 参加者数：　76 人　（対前年度　+65 人） 自動車学校での交通安全教室（港北）

（３）自転車の交通安全

事業名	実施内容
横浜市自転車 交通安全教室 (公募型指名競争入札)	横浜市が指定した中学校の生徒を対象とした自転車利用者の事故責任、自転車の通行場所、ながら運転の危険性等を学ぶ自転車交通安全教室の開催 開 催 数：　20 回（対前年度　-1 回） 参加者数：　4,495 人（対前年度　-1,234 人） 体育館での交通安全教室 校内放送による交通安全教室
自転車交通安全 教室	小学生から高齢者までの幅広い年代を対象とした自転車交通安全教室の開催 開 催 数：　21 回　（対前年度　+10 回） 参加者数：　2,595 人　（対前年度　+683 人） 中学校での交通安全教室（泉）

（４）二輪車の交通安全

事業名	実施内容
二輪車交通安全教室	二輪車ドライバーを対象とした交通安全教室の開催 開 催 数：　5 回　（対前年度　+1 回） 参加者数：　94 人　（対前年度　+24 人） 自動車学校での交通安全教室（青葉）

（５）地域住民を対象とした各種交通安全活動

事業名	実施内容
ア　地域に密着した交通安全活動	各種イベントの開催や駅前広場を利用した広報啓発活動の実施 実 施 数：　15 回　（対前年度　+11 回） 参加者数：　17,008 人　（対前年度　+15,076 人） イベント参加者への啓発活動（磯子）

イ　地域指定特別対策等	交通事故多発地域に指定された区と連携した交通事故防止啓発活動の強化 ◆自転車交通事故多発地域指定（５月１日指定） 【鶴見区・南区・瀬谷区】 自転車用反射材の配付による啓発活動 ◆高齢者交通事故多発地域指定（９月１日指定） 【中区・瀬谷区】 反射材ストラップの配付による啓発活動

２　広報啓発事業

新入学児童向け交通安全教材の配付や自転車駐車場等における安全運転・交通事故防止の広報啓発活動を実施しました。

事業名	実施内容
(1) 公式Twitterを活用した広報啓発	○　交通事故防止のワンポイントアドバイスについて情報発信と市民フォロワー数の拡充
(2) 新入学児童に対する広報啓発	○　交通安全教育冊子の作成、市内全小学校の新入学児童への配付 冊　子：「新一年生のためのこうつうあんぜん」 配付数：34,000部
(3) 賛助会員に対する広報啓発	○　各季の運動期間中の交通情勢について情報発信 ○　関係事業所に対する交通事故防止の働きかけ
(4) 横浜市、県警察と連携した広報啓発	○　各季の運動等における交通安全キャンペーン等の連携実施
(5) 自転車駐車場等を拠点とする交通安全活動	○　各季の交通安全運動及び各種強化月間における自転車・自動車駐車場、自転車等保管場所における交通安全広報の実施
(6) 報道機関に対する交通安全情報の提供	○　当協会の交通安全事業を広く周知させるため、報道機関に対しタイムリーな活動状況等の情報提供

(7) 自転車・高齢者の交通事故多発地域における広報啓発	○　自転車交通事故多発地域【鶴見区、南区、瀬谷区】 高齢者交通事故多発地域【中区、瀬谷区】 に対し、地区交通安全協会を通じて広報啓発物品を配布
(8) 企業からの寄贈品を活用した広報啓発	○　日産自動車株式会社横浜工場の社員一同様から、「反射材ストラップ」の寄贈を受け、鶴見区及び神奈川区の全小学校の新入学児童に配付 ○　パレネット・日立物流「まごころ基金」様から「自転車リフレクター」の寄贈を受け、各地区交通安全協会へ配布

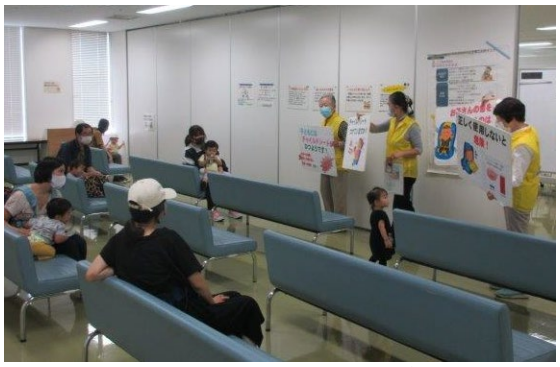
3　交通安全功労者表彰事業

令和４年度交通安全功労者表彰を、横浜市交通安全対策協議会との共催で次のとおり開催しました。

日　　時	令和４年10月26日（水）午後２時～３時
会　　場	ロイヤルホールヨコハマ
受 賞 者	功労者　個人 ……３９人 功労者　団体 ……６団体 優良運転者 ……５８人

4　交通安全活動団体への支援事業

事業名	実施内容
(1) 横浜市内各地区交通安全協会が実施する事業への支援	ア　各種交通安全運動における広報啓発物品の提供 イ　交通安全活動事業への助成 ウ　各地区交通安全協会事務長会議の開催（書面開催）

(2) 横浜市交通安全母の会連合会が実施する事業への支援	チャイルドシート着用教室の開催支援 開 催 数： 5 回 （対前年度 +2 回） 参加者数： 196 人 （対前年度 +141 人）  区役所（乳幼児健診）での着用教室
(3) セーフティ・チャレンジ・かながわへの協賛	３人一組のチームを組んで６か月間、無事故・無違反に挑戦する交通安全コンクールの協賛 主催：セーフティ・チャレンジ・かながわ実行委員会

５　各種交通安全運動との連携事業

「安全は心と時間のゆとりから」を年間スローガンに、次に掲げる各季の運動、各種強化月間及び交通安全対策協議会等の安全運動にあわせて、関係団体等と連携して、交通安全活動を推進しました。

（１）各季の運動

名　　称	内　　容
春の全国交通安全運動 交通事故死ゼロを目指す日	4 月 6 日(水) ～ 4 月 15 日(金) 4 月 10 日(日)
夏の交通事故防止運動	7 月 11 日(月) ～ 7 月 20 日(水)
秋の全国交通安全運動 交通事故死ゼロを目指す日	9 月 21 日(水) ～ 9 月 30 日(金) 9 月 30 日(金)
年末の交通事故防止運動	12 月 11 日(日) ～ 12 月 20 日(火)

（２）各種強化月間

名　　称	内　　容
九都県市一斉 自転車マナーアップ強化月間	5 月 1 日(日) ～ 5 月 31 日(火)
二輪車交通事故防止強化月間 暴走族追放強化月間	6 月 1 日(水) ～ 6 月 30 日(木)
放置自転車・ バイククリーンキャンペーン	10 月 1 日(土) ～ 10 月 31 日(月)

飲酒運転根絶強化月間	12月1日(木) ～ 12月31日(土)

（３）横浜市交通安全対策協議会の安全運動

名　　称	内　　容
年間を通じて実施する取組	・　子どもと高齢者の交通事故防止 ・　自転車・二輪車の交通事故防止 ・　視聴覚教材・交通安全パネルの貸出し等
特別対策	・自転車交通事故多発地域 【鶴見区・南区・瀬谷区】 ・高齢者交通事故多発地域 【中区・瀬谷区】

横浜市内における交通事故発生状況　（1 月～12 月）

区　分	件 数	死者数	負傷者数
令和 4 年	7,492	38	8,483
令和 3 年	7,883	36	8,997
増　　減	-391	+2	-514

警察署別 交通事故発生状況　（1 月～12 月）

警察署	交　通　事　故					
	発生件数		死者数		負傷者数	
	件	前年比	人	前年比	人	前年比
加 賀 町	83	-24	0	±0	99	-37
山　　手	101	-4	0	-1	112	-11
磯　　子	311	-56	1	-2	354	-75
金　　沢	506	-57	2	+1	574	-60
南	328	-33	2	+2	361	-45
伊勢佐木	184	-17	1	-2	200	-16
戸　　部	255	+18	3	+3	285	+6
神 奈 川	363	-112	3	±0	400	-138
鶴　　見	669	+94	4	+3	745	+95
保土ケ谷	454	±0	0	-3	526	+12
旭	528	+9	2	+1	594	-12
港　　南	477	+44	2	+1	585	+94
港　　北	512	-6	2	+1	559	-29
緑	371	-20	5	+3	416	-37
青　　葉	543	-70	1	-2	625	-77
都　　筑	438	-15	4	+1	509	-7
戸　　塚	514	-126	4	-2	571	-154
栄	193	-9	0	±0	238	+6
泉	272	+7	0	-2	297	-4
瀬　　谷	374	-1	2	±0	412	-7
横浜水上	16	-13	0	±0	21	-18
計	7,492	-391	38	+2	8,483	-514

令和４年中の横浜市内の交通情勢（状態別）

	発生件数	（前 年 比）
二輪車事故	２４１７件	（－１２１件）
歩行者事故	９０８件	（－　６５件）
自転車事故	１７３４件	（－　　７件）
飲 酒 事 故	３９件	（±　　０件）
高齢者事故	２４６９件	（－１５２件）
子供の事故	４８５件	（－　６６件）

【横浜市内の交通事故の特徴】

県内における令和 4 年中の交通事故死者数は 113 人で、全国ワースト 1 位であった 142 人を大きく下回ったものの、横浜市内での交通事故死者数は 38 人と増加に転じ、依然として交通情勢は厳しい環境にあると言えます。

横浜市内で交通事故で亡くなられた 38 人のうち、歩行者と二輪車で全体の８割以上を占めています。それぞれの特徴を見ますと、歩行者は道路横断中に、二輪車は右折車両と直進のバイク（いわゆる右直事故）やハンドル、ブレーキ操作の誤りにより発生しています。

県警察では、本年は、自転車事故防止対策を最重点として、横断歩行者、二輪車の３つの交通事故防止対策を推進するとのことです。

当協会におきましても、昨年の交通情勢を踏まえて地域特性に沿った交通事故分析を行い、各地区交通安全協会と連携して交通安全活動を推進してまいります。

令和４年度 自転車等対策事業報告

令和４年度の市営自転車駐車場の管理運営業務については、西部区域計５区の運営を着実に実施しました。

放置自転車等の移動、保管・返還等の業務については、東部区域を受託し、駅前広場や周辺の道路における歩行者の安全を図るとともに、町の美観保持に寄与しました。

なお、令和５年度も入札の結果、引き続き東部区域を受託することとなりました。

１ 自転車駐車場の管理運営

（１）市内５区における施設及び利用状況

合計５区（令和５年３月３１日現在）
西部区域（旭区、戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区）

○ 自転車駐車場 ･････････････････････････４７か所

○ 収容台数 ･････････････････････････････２６，０５８台

令和４年度自転車駐車場の廃止・新設等の状況

区分	時期	自転車駐車場	収容台数増減(台)	備考
廃止	令和4年9月３０日	弥生台駅北口	△９１５	
新設	令和５年２月１日	瀬谷駅南口	５４	自転車定期専用
増設	令和５年２月１日	瀬谷駅北口	８４	自転車一時 73 台／定期 11 台
増設	令和５年２月１日	瀬谷駅北口第五	３０	自転車定期専用

○ １日平均の利用台数及び利用率

１日平均利用台数は２３，９１２台で、収容台数の減少等もあり、前年度に比べ１８７台減少しました。

なお、利用率は９１．８％でした。

（年間稼働日数　２９３日）

区　分		収容台数①（台）	１日平均利用台数②（台）	利用率②/①(%)
自転車	一時利用	4,308	4,291	99.6
	定期利用	11,339	12,132	107.0
	小　　計	15,647	16,423	105.0
バイク	一時利用	2,446	1,773	72.5
	定期利用	7,965	5,716	71.8
	小　　計	10,411	7,489	71.9
合　　計		26,058	23,912	91.8
前年度実績(西部区域)		26,805	24,099	89.9
対前年度　増減		△747	△187	

○ 利用券の販売状況

年間販売枚数は、１，８９０，０１２枚となり、前年度に比べ１６６，４２９枚の増（対前年度１０９．６％）となりました。

区　分			販売枚数（枚）
自転車	一時利用		1,257,233
	定期利用	１か月	40,817
		３か月	34,925
	小　　計		1,332,975
バイク	一時利用		519,612
	定期利用	１か月	21,841
		３か月	15,584
	小　　計		557,037
合　　計			1,890,012
前年度実績			1,723,583
対前年度　増減			166,429

（対前年度 109.6%）

（参考）横浜市整理手数料収入（西部区域）

当協会が取り扱った横浜市整理手数料は、５８０，７２１千円となり、前年度に比べ、１５，５７１千円の増（対前年度１０２．８％）となりました。

（単位：円）

区　分		４年度	３年度	対前年度増減
自転車	一時利用	110,705,760	99,118,000	11,587,760
	定期利用	252,990,000	248,861,500	4,128,500
	小　　計	363,695,760	347,979,500	15,716,260
バイク	一時利用	57,513,120	56,316,250	1,196,870
	定期利用	159,512,500	160,855,000	△1,342,500
	小　　計	217,025,620	217,171,250	△145,630
合計		580,721,380	565,150,750	15,570,630

（対前年度 102.8%）

（２）お客様サービス向上の取組

自転車駐車場運営理念・運営方針を踏まえ、次のとおり取り組みました。

ア　業務執行体制

機械化により、お客様サービスの向上を図り、効率的な執行体制の構築に努めました。

【本部】業務執行理事
　　｜
　　事務局長
　　｜
　　事業部長
　　｜
　　課長補佐・主任（各１人）
　　｜
　　指導員　　（2 人）

【現場】場長　　（18 人）
　　｜
　　整理員　　（76 人）

一般財団法人 横浜市交通安全協会

自転車駐車場 運営理念・運営方針

運営理念

市民利用施設であることを常に自覚し、効率的で利用者の立場に立った運営を行います。

運営方針

(ｱ) お客様の安全・安心・満足を第一に、より多くのお客様をお迎えします。
(ｲ) 感謝の気持ちを持って、公正・公平なサービスを提供します。
(ｳ) 快適にご利用いただくため、日常の整理整頓、清掃、保守管理を徹底します。
(ｴ) 常にコスト意識を持って運営経費の節減を行います。
(ｵ) 地域に身近な施設として、地域への貢献を果たします。

平成27年11月改定

イ　サポートセンターを基軸としたワンストップサービスの提供

サポートセンターにより、きめ細やかな駐輪情報の案内や機器故障時の迅速な対応など、ワンストップサービスの提供によりお客様サービスの向上に繋げています。

時間外・休日における機器故障等は２２件出動対応しました。

ウ　日常管理と巡回指導

お客様に気持ちよくご利用いただけるよう、整理員一人ひとりが「笑顔であいさつ」、「清潔な身だしなみ」を実践するとともに、こまめな整理整頓・清掃及び巡視を行いました。

また、本部指導員により定期的に現場巡回・指導を実施しました。

エ　接遇の向上に向けた取組

自転車駐車場整理員を対象に、実際の事例に基づいた接遇研修を全整理員に実施しました。また、新型コロナウイルス感染防止対策として、書面による研修としました。

なお、お客様満足度調査（全自転車駐車場）を実施し、サービス改善に役立てました。

オ　お客様のご意見・要望と感謝事例

令和４年度に寄せられたお客様のご意見・要望の多くが、接遇に関するもので、寄せられたご意見を協会全体で受け止め、接遇改善の事例として活かしました（ご意見・要望は１９件）。

（３）地域貢献活動の実施

ア　子ども１１０番の家活動

地域の安全と安心に貢献するため、「子ども１１０番の家活動」を整理員が常駐する自転車駐車場管理事務所１９か所で行いました。

イ　災害発生時の対応に関する取組

各自転車駐車場に最寄りの「広域避難場所・地域防災拠点」や「帰宅困難者一時滞在施設」を記載した「避難ＭＡＰ」を常備し、整理員が案内できるようにしました。

（４）職場活性化に向けた取組

ア　従業員表彰の実施

円滑な自転車駐車場運営に寄与したり、善行が認められた自転車駐車場及び整理員を対象に、会長表彰を行いました。

【表彰対象者等】自転車駐車場４か所及び整理員１２人

イ　整理員人事異動

職場の活性化や整理員のスキル向上等を図るため、令和４年度は計１９人の人事異動を行いました。

ウ　再雇用整理員の雇用

経験や能力を活用するため、７０歳を超えた整理員のうち、勤務成績や健康状態が良好な者を、再雇用整理員として計６７人雇用しました。

（新規１７人、継続５０人）

（５）適切な業務執行に向けた取組

ア　定期監査の実施

自転車駐車場管理事務所全１９か所を対象に新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、定期監査を実施しました。

８月から９月にかけては、個人情報や服務規律を含めた総合的な監査、３月は指導員による消耗品費・切手の監査を行いました。

監査結果は概ね良好であり、指摘事項については、速やかに改善しました。

イ　効率的な管理運営や利便性向上への取組

・一時利用券売機の新規導入
（鶴ヶ峰駅南口第三自転車駐車場ほか　計２か所）

・定期更新機の新規導入
（希望ヶ丘駅南口第二自転車駐車場ほか　計５か所）

・電磁ロック式駐輪機の新規導入
（瀬谷駅北口自転車駐車場）

・交通系ＩＣカード決済導入によるキャッシュレス化
（鶴ヶ峰駅南口第三自転車駐車場ほか　計２か所）

電磁ロック式駐輪機の新規導入

ウ　自転車駐車場における盗難対策の実施

盗難対策として、次の取組を実施しました。

・整理員による場内巡回や声掛けの強化
・警察署と連携した防犯キャンペーンや防犯啓発看板の掲出
・管理事務所への重量金庫の設置継続
・券売機及び定期更新機への機械警備設置を継続実施

エ　未納整理料回収率向上への取組

未納整理料の回収に努めました。回収金額は１５，９９６千円で、回収率は８８．７％となりました。

回収金額は、前年度と比較して、２，３８５千円増加しました。

対象年度	未納整理料	回収金額	回収率	対前年度増減
令和４年度	18,038,000 円	15,996,430 円	88.7%	△0.9 ポイント
令和３年度	15,186,800 円	13,611,510 円	89.6%	

オ　新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルス感染防止対策として次の取組を行いました。

・管理事務所窓口等への手指消毒液の設置
・管理事務所窓口への透明カーテン設置
・全整理員宛て「新型コロナウイルス感染予防について」の通知
・非接触型体温計の配備

日々の検温と検温結果の記録

２　交通安全啓発活動の実施

（１）自転車駐車場及び保管場所における広報

各季交通安全運動及び強化月間に合わせ、次の取り組みを行いました。

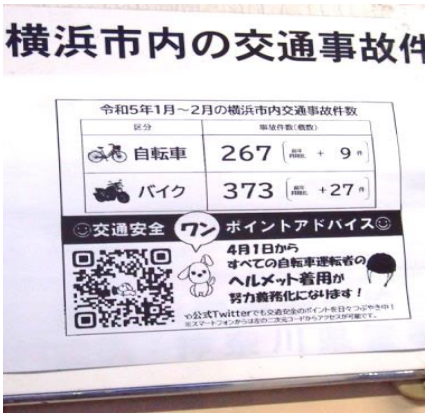
・交通安全ポスター、のぼり旗、ミニのぼり旗の掲出

・本部職員、整理員の胸リボン着用による広報周知

・交通安全広報チラシ及び物品の配布

・令和５年４月１日からのヘルメット着用努力義務化の広報

また、横浜市内の交通事故件数の掲出を行いました。



横浜市内の交通事故件数と
ヘルメット着用努力義務化広報

整理員によるバイク利用者への声がけ

（２）自転車駐車場における活動

・自転車駐車場における交通安全キャンペーン実施
（三ツ境駅北口第二自転車駐車場ほか　計６か所）

・「自転車安全てんけん」の実施
（立場駅自転車駐車場）

整理員及び警察官による
交通安全キャンペーン広報

自転車安全整備士による
「自転車安全てんけん」

３　個人情報保護に向けた取組

個人情報保護研修を全整理員に対して実施するとともに、各自転車駐車場窓口においては、「プライバシーマーク」の認証基準に基づき、個人情報の適正な取得、保管、利用を行いました。

また、定期監査時に個人情報の管理状況について監査を実施しました。

監査結果は概ね良好であり、指摘事項については速やかに改善しました。

４　研修等の実施

自転車駐車場整理員を対象に、各種研修を行いました。

研修一覧

研修名	回数	主な内容
新整理員研修（随時）	５回	運営理念・運営方針、就業時の注意点 お客様対応、個人情報保護
正規整理員移行時研修（随時）	２回	正規整理員としての業務処理及び心構え 車両取扱いの基本の再確認
接遇研修（８月）	１回	お客様から見た整理員の接遇
コンプライアンス研修（８月）	１回	法令及び社会規範遵守の重要性
個人情報保護研修（８月）	１回	当協会が取り扱う個人情報の保護 プライバシーマークの運用
人権啓発研修（８月）	１回	企業と人権

５　放置自転車等の移動並びに保管場所における保管・返還及び処分

（１）市内５区における施設状況

合計５区（令和５年３月３１日現在）
　東部区域（鶴見区、神奈川区、西区、中区、保土ケ谷区）
○ 自転車等保管場所 ･････････････････････　７か所
○ 施設面積 ･･････････････････････････ １１，７２３㎡

（２）放置自転車・バイクの移動業務

　駅周辺の放置禁止区域に放置されている自転車・バイクを、横浜市の指示に基づき、保管場所に移動しました。
・移動対象駅　　４１駅（市内５区）
・移 動 回 数　７８０回

（３）保管・返還業務

　市内７か所の保管場所に３０人の管理員を配置し、移動された自転車・バイクの保管、所有者への返還、引取りのない自転車等のリサイクル及び廃棄処分を行いました。
・移　動　台　数　　９，６０６台
・返　還　台　数　　５，７２６台
・返　　還　　率　　５９．６％
・リユース台数　　１，７６６台
・金属資源再利用　　２，２３７台

放置自転車等の移動、返還等実績

項目	移動台数 ①（台）	返還台数 ②（台）	返還率 ②/①(%)	リユース台数 ③（台）	金属資源再利用 ④（台）
自転車	9,332	5,538	59.3	1,766	2,140
バイク	274	188	68.6	－	97
計	9,606	5,726	59.6	1,766	2,237

（注）移動台数＝返還台数＋リユース台数＋金属資源再利用とならないのは、前年度移動分を含むためです。

（４）適切な業務執行に向けた取組

定期監査の実施

自転車等保管場所７か所を対象として、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上、定期監査を９月に実施しました。指摘事項として、各種鍵の保管場所を金庫内に保管するよう指導致しました。

６　自転車会事業の実施

市内小中学校等へのチラシの配付など、市民に対する自転車保険加入促進に向けた普及活動を推し進めた結果、令和５年３月までの入会者数（会員数）は、１０，２１４人となりました。

また、自転車の交通安全に関する各種講習会・研修会の参加機会の提供を２回行いました。

なお、自転車会及び自転車保険の周知については、地区交通安全協会にイベントや交通安全教室におけるチラシ・パンフレットの配付等、多大なご協力を頂いています。

自 転 車 駐 車 場（西 部 区 域）　一 覧

令和５年３月３１日現在

収容台数等	自転車駐車場名	収容台数等	自転車駐車場名
旭区 (13か所) 4，707台	鶴ヶ峰駅北口		東戸塚駅東口
	鶴ヶ峰駅北口第二		東戸塚駅東口第二
	鶴ヶ峰駅北口第三		東戸塚駅東口第三
	鶴ヶ峰駅北口第四		東戸塚駅東口第四
	鶴ヶ峰駅南口第三		東戸塚駅西口
	二俣川駅		東戸塚駅西口第二
	二俣川駅第二		舞岡駅
	二俣川駅第四	栄区 (3か所) 3，993台	本郷台駅
	二俣川駅第五		大船駅東口第二
	希望ヶ丘駅北口		大船駅東口第三
	希望ヶ丘駅南口	泉区 (5か所) 1，900台	弥生台駅南口
	希望ヶ丘駅南口第二		踊場駅
	三ッ境駅北口第三		中田駅
戸塚区 (20か所) 12，204台	戸塚駅東口		中田駅第二
	戸塚駅東口第二		立場駅
	戸塚駅東口第三	瀬谷区 (6か所) 3，254台	瀬谷駅北口
	戸塚駅東口第五		瀬谷駅北口第五
	戸塚駅東口第六		瀬谷駅南口
	戸塚駅東口第七		三ツ境駅北口
	戸塚駅東口第八		三ツ境駅北口第二
	戸塚駅東口第九		三ッ境駅南口
	戸塚駅西口第五	合　計	（４７か所） ２６，０５８台
	戸塚駅西口第十		
	戸塚駅西口第十四		
	戸塚駅西口第十五		
	戸塚駅西口第十八		

自 転 車 等 保 管 場 所（東 部 区 域）一 覧

令和5年3月31日現在

区域	区名	名称	所在地	面積（㎡）	移動対象駅	対象数
東部	鶴 見	岸谷生麦	鶴見区岸谷1丁目2番	2,227	JR鶴見、京急鶴見、鶴見市場、生麦、矢向、尻手	6
	神奈川	宝 町	神奈川区宝町2番地先	2,291	新子安、東神奈川、子安、神奈川新町、京急東神奈川、大口、反町、東白楽、白楽、片倉町、三ツ沢上町、三ツ沢下町	12
	西	コットンハーバー	神奈川区橋本町2丁目1-25番地	1,108	横浜（西）	1
		緑 町	西区みなとみらい4-1	1,062	横浜（東）、新高島、平沼橋、戸部、みなとみらい、西横浜、高島町	7
	中	かもめ町	中区かもめ町72-1	3,126	関内、馬車道、石川町、山手、元町・中華街、日本大通り	6
		新山下	中区新山下3丁目4番地先	1,062	桜木町、日ノ出町	2
	保土ヶ谷	今井町	保土ヶ谷区今井町385地先	847	保土ヶ谷、天王町、星川、和田町、上星川、西谷、羽沢横浜国大	7
計		7か所		11,723		41

令和４年度 自動車駐車場等経営事業報告

違法駐車をなくし、交通事故の防止に寄与するため、駐車場を整備し、駐車場利用者に安全で快適に利用していただけるよう管理運営を行いました。また、交通安全活動の拠点の一つとして駐車場利用者に対して交通安全の呼びかけ活動も推進しています。

港南台及び東芹が谷自動車駐車場の運営につきましては、道路占用入札制度に移行し、市場競争が激化のところ、入札の結果、引き続き当協会で、管理運営を行うこととなりました。

また、令和４年度４月から、道路占用入札の結果、新たに洋光台自動車駐車場を開設・運営しました。

１　自動車駐車場等の新規開設等

（１）　新規開設（１か所）

４月１日から、洋光台自動車駐車場を新設しました。

※時間貸　２４台

洋光台自動車駐車場

（２）　区画増設等

① 阪東橋自動車駐車場は、橋脚保護柵工事終了に伴い普通車１２台、軽自動車４台の計１６台再開しました。

② 桜道自動車駐車場は、普通車駐車区画を１台増設しました。

（３）　運営終了駐車場

羽沢横浜国大駅前自転車駐車場は、令和４年７月３１日をもって管理運営を終了しました。

※時間貸　１９１台

２　自動車駐車場等の管理運営

（１）月極駐車場の年間契約率

自動車は、９７．５％で前年度に比べ６．４ポイント増加。自動二輪車は、８５．２％で前年度に比べ６．５ポイント減少しました。

自動車駐車場月極年間平均契約率推移

契約種別	令和４年度		令和３年度	対前年度増減
	契約台数/収容台数	年間平均契約率	年間平均契約率	
自動車	346台/375台	97.5%	91.1 %	6.4 ポイント
自動二輪車	37台/ 44台	85.2%	91.7 %	△6.5 ポイント

（２）時間貸駐車場稼働率

時間貸自動車駐車場は、２３．２％で前年度に比べ０．４ポイント増加。自動二輪車は、２４．６％で、前年度に比べ３．３ポイント増加。自転車駐車場は、２４．３％で、前年度に比べ３．４ポイント増加しました。

＜自動車等駐車場時間貸年間平均稼働率推移＞

契約種別	令和４年度		令和３年度	対前年度増減
	収容台数	年間平均稼働率	年間平均稼働率	
自動車	249台	23.2%	22.8 %	0.4ポイント
自動二輪車	29台	24.6%	21.3 %	3.3ポイント
自転車駐車場	265台	24.3%	20.9 %	3.4ポイント

（３）適切な業務執行に向けた取組

ア　巡回点検・清掃の実施

お客様が気持ちよくご利用いただけるよう、駐車場の巡回を毎月２回以上実施し、場内点検するとともに清掃等を実施しました。

特に夏場は、除草を重点的に行っております。

イ　定期監査の実施（８月）

野毛山有料駐車場及び野島自動車駐車場を対象に定期監査を実施し、不正や誤りの早期発見や改善、効率的・効果的な業務執行に努めました。

ウ　経費節減対策

下永谷四丁目駐車場斜面地の除草は、業者に委託することなく直営で施工することで省力化及び経費節減に努めました。

施工前

施工後

（４）個人情報保護に向けた取組

個人情報保護研修を全整理員に対して実施し、適正な取扱いに努めました。

また、野毛山有料駐車場及び野島自動車駐車場では、「プライバシーマーク」の認証基準（入退室管理の実施、個人情報の適正な保管等）を推進しております。

３　交通安全啓発活動の実施

野毛山有料駐車場、野島自動車駐車場を交通安全活動の拠点の一つとして活用し、各種交通安全運動などに合わせ、交通安全の呼びかけやのぼり旗の設置など、広報啓発活動を行いました。

４　研修等の実施

自動車駐車場整理員を対象とした各種研修を実施しました。

（１）通常研修

研修名	回数	主な内容
新整理員研修（随時）	３回	接遇、お客様対応 機械操作の基本の理解
正規整理員研修(随時)	２回	正規整理員としての業務処理及び心構え　機械操作の基本の再確認
事例研修（随時）	１回	業務処理ミス等の再発防止研修
健康管理研修（７月）	１回	熱中症の予防
接遇研修（８月）	１回	お客様から見た整理員の接遇
コンプライアンス研修（８月）	１回	法令及び社会規範遵守の重要性
個人情報保護研修（８月）	１回	当協会が取り扱う個人情報の保護 プライバシーマークの運用
人権啓発研修（８月）	１回	企業と人権

（２）防災訓練

研修名	回数	主な内容
防災訓練（７月）	１回	119番通報訓練、初期消火

119番通報訓練、初期消火（野毛山有料駐車場）

自 動 車 駐 車 場 等 一 覧

令和５年３月３１日現在

No.	名　　称	所　　在　　地	開設年月	面 積（㎡）	駐車台数 自動車	駐車台数 二輪車等	月　極 時間貸
1	西寺尾二丁目自動車駐車場	神奈川区西寺尾二丁目72-6	H.16. 2	676	21	7	月　極
2	野 毛 山 有 料 駐 車 場	西区老松町１	H. 6. 2	3,161	110		時間貸
3	横浜西口自動二輪車駐車場	西区北幸二丁目3番4の一部	H.18. 3	113		29	時間貸
4	中区役所前自転車駐車場	中区日本大通34番地先	R. 2. 8	75		74	時間貸
5	阪 東 橋 自 動 車 駐 車 場	南区二葉町1丁目1番地	H. 2. 7	2,477	76	14	月　極
6	東 芹 が 谷 自 動 車 駐 車 場	港南区東芹が谷23-7	H. 7. 4	200	9		月　極
7	港 南 台 自 動 車 駐 車 場	港南区港南台一丁目30	H. 7. 4	342	19		月　極
8	下永谷四丁目自動車駐車場	港南区下永谷四丁目2281番1	H.31. 4	3,254	78 7		月極 時間貸
9	桜 道 自 動 車 駐 車 場	港南区港南六丁目2333-10外	H.24. 7	711	21	7	月　極
10	二 俣 川 自 動 車 駐 車 場	旭区さちが丘136番地1先	S.63. 2	149	12	1	月　極
11	二俣川第二自動車駐車場	旭区さちが丘50番地	H.10. 7	237	10		月　極
12	森 一 丁 目 自 動 車 駐 車 場	磯子区森一丁目2049番地先	H.19. 3	328	11	5	月　極
13	洋 光 台 自 動 車 駐 車 場	磯子区洋光台三丁目3-14	R. 4. 4	616	24		時間貸
14	野 島 自 動 車 駐 車 場	金沢区野島町478番地	S.63. 7	1,204	92		時間貸
15	富 岡 東 自 動 車 駐 車 場	金沢区富岡東二丁目2555番89	H.15.10	283	14		月　極
16	釜 利 谷 東 自 動 車 駐 車 場	金沢区釜利谷東六丁目738-1他	H.26. 7	248	5		時間貸
17	霧 が 丘 自 動 車 駐 車 場	緑区霧が丘六丁目16番地先	H. 3.10	879	40		月　極
18	美 し が 丘 自 動 車 駐 車 場	青葉区美しが丘西三丁目100-3の一部	H.23. 8	138	4 3	1	月極 時間貸
19	東 戸 塚 自 動 車 駐 車 場	戸塚区品濃町500-6	H.11.11	639	23	3	月　極
20	不 動 坂 自 動 車 駐 車 場	戸塚区柏尾町300番地先	H.17.12	237	16		月　極
21	長 沼 町 自 動 車 駐 車 場	栄区長沼町334番地先	H.19. 9	291	10	1	月　極
22	長沼町第二自動車駐車場	栄区長沼町723-5外	H.23. 4	495	17 2	5	月　極 時間貸
小　計				16,753	624	147	
合　計					771		